

画像診断報告書

患者ID	〇〇〇〇-〇〇〇〇		
患者氏名	〇〇 〇〇 様 (男)	生年月日	19XX 年 XX 月 XX 日 (検査時 68 歳)
臨床診断	胃癌。		
検査目的	上記精査。		
臨床情報	胃癌で化学療法を予定。胃体部～噴門、前壁～小彎に癌腫あり。単純 CT で LN 転移。		
部位/モダリティ	胸部～骨盤 / CT	検査日時	20XX 年 XX 月 XX 日 XX:XX
検査実施 医療機関	〇〇病院	造影剤	オイパロミン
依頼医/依頼科	△△ △△ / 外科	病棟	外来
希望対応	通常		

読影担当医	〇〇 〇〇
読影所見	<p>前回 CT 検査(20XX/XX/XX)と比較しました。</p> <p>胃噴門部から胃体上部にかけてほぼ全周性に胃壁の肥厚を認めます。明らかな周囲組織への直接浸潤を疑う所見は認めません。T2-3 相当と思われる。胃吻門部から小彎部にかけて認める多発リンパ節腫大(#1～#3)は最大のもので径 42×52mm とサイズに変化はありません。7 個以上は認めます(N3a、UICC 7th)。</p> <p>肝外側区には嚢胞を疑う低吸収域を認めます。明らかな肝転移を疑う腫瘍は認めません。その他、腹腔内臓器に転移を疑う所見はありません。</p> <p>胆嚢底部には萎縮、壁肥厚を認めます。局所的な慢性炎症を疑います。内部に結石を認めます。上行結腸には多発憩室を認めます。</p> <p>単純 CT 上、明らかな転移を疑う所見はありません。播種を疑う結節および腹水は認めません。</p> <p>肺野に明らかな結節、浸潤影は指摘できません。有意なサイズの縦隔リンパ節腫大、その他の縦隔器質病変はみられません。胸水ありません。</p> <p>骨粗大病変は認めません。</p> <p>その他、有意な所見はありません。</p>
読影診断	胃癌、多発リンパ節転移疑い(T2-3、N3a、M0:UICC 7th) 読影医: 〇〇 〇〇

